

業務運営進行表

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

所属	局名	部名	室・課(出先は所属)名	所属のホームページ
	産業労働局		産業技術センター (工芸技術所を含む)	http://www.kanagawa-iri.jp

業務概要

産業技術センター所長の岸本です。

産業技術センターは、主に次の仕事をしています。

工業技術その他の科学技術の向上及び発展に必要な試験研究、調査、技術支援及び計量検定を行っています。

〔4つの柱〕

ものづくり支援・・・中小企業の抱える現実的技術課題の解決と支援

研究開発・・・新技術、新製品開発のための技術開発研究

人材育成・・・企業の技術者や研究人材の育成

技術情報、交流・連携・・・産学公交流・連携、技術情報の提供

収支の状況

(単位：千円)

		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	出納整理期間	累計	
収入	収入科目	年間計画額	収入済額					
	使用料及び手数料	1,896	570	774		2	1,346	
	諸収入	121,864	21,763	16,152	12,293	6,936	23,652	80,795
	その他	27,657	1,738			119	25,380	27,236
	収入計(A)	151,417	24,070	16,926	12,293	7,054	49,033	109,377
支出	事業経費	項目	(再)配当額	支出済額				
	事業費	413,936	17,729	72,531	77,947	182,248	63,481	413,936
	維持管理費	242,291	17,818	33,659	36,953	87,968	65,895	242,291
	計	656,227	35,547	106,190	114,899	270,215	129,375	656,227
	人件費(注1)		374,393	253,069	385,280	267,297		1,280,039
支出計(B)		409,939	359,259	500,180	537,512	129,375	1,936,266	
差額(A)-(B)(注2)		385,869	342,334	487,887	530,458	80,342	1,826,889	

(注1) 人件費には職員数に共済費及び退職手当の平均単価を乗じて算出した共済費相当額(事業主負担分)及び退職手当相当額が含まれています。

(注2) 差額の(マイナス)には、県税や県債、国庫支出金等を充当しています。

(注3) 各項目毎に千円未満四捨五入を行っているため、各計欄は各項目を合計したものと一致しない場合があります。

職員配置状況

配置職員数	区分	4月1日	7月1日	10月1日	1月1日
	常勤職員	125	126	126	126
	上記以外の職員	29	33	30	33
	計(人)	154	159	156	159

業務実施状況

1 利用者数

産業技術センターの各種支援事業の利用を促進することで中小企業の基盤技術の向上や新規成長分野への参入を促進します。

項目	年間目標 (計画人数)	実績人数				(単位：人)
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計
利用者数	30,110	6,874	7,777	9,195	7,188	31,034
(前年度実績)	29,500	6,920	7,340	9,214	7,276	30,750

2 技術連携件数

県内中小企業、大企業、大学等、産学公の共同研究を促進し、共同研究等の成果の県内企業への展開、県内中小企業と大企業等との交流を図ります。

項目	年間目標 (計画件数)	実績件数				累計	(単位:件)
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
件数(累計)	390	0	373	0	396	396	
(前年度実績(累計))	325	0	318	0	334	334	

3 成果事例件数

ものづくりの国際競争が厳しさを増し、産業構造が変化する中、県内製造業のものづくり技術の高度化を図り、世界をリードする神奈川発の技術開発を進展させることで、付加価値の高い新たなものづくり産業の創出をめざします。

【かながわグランドデザイン プロジェクト No.6 産業創出】

本事業は本県の総合計画である「かながわグランドデザイン」のプロジェクトに位置づけられている事業で、プロジェクトでは数値目標の一つとして「神奈川発新技術の実用化件数(累計)」を掲げています。
 かながわグランドデザイン実施計画プロジェクトの数値目標の詳細はこちらから↓
<http://www.pref.kanagawa.jp/uploaded/attachment/783679.pdf#page=44>

項目	年間目標 (計画)	実績件数				出納整理期間	累計	(単位:件)
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期			
件数	108	0	0	0	0	108	108	
(前年度実績)	100	0	0	0	0	100	100	

成果事例の件数については、出納整理期間に記載します。

4 技術展示会出展中小企業者数

県内の大企業、研究所等の集積の効果を地域の中小企業に有効に波及させるために、新たな技術連携の機会を提供することにより企業と県内中小企業等との連携を強化し、共同研究、技術移転等を促進し、成長分野への中小企業の参入を図ります。

項目	年間目標 (計画)	実績件数				累計	(単位:件)
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
件数(累計)	420	400	406	441	471	471	
(前年度実績(累計))	350	287	292	344	393	393	

5 O R T 研修の実施

研究人材を育成するための特定研究分野に特化した研修を実施します。

項目	年間目標 (計画)	実績件数				累計	(単位:人)
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
人数	80	12	5	15	24	56	
(前年度実績)	80	6	8	23	18	55	

新規テーマの研修を企画し、コース別研修のコース数を昨年度より増やし、受講者数の増加を図ったが、受講希望者が少なく、目標未達となった。

6 中小企業新商品開発等支援事業補助金の交付

新商品・新技術の開発や販路開拓を実施する企業に対し、補助金を交付しています。

項目	年間目標 (計画)	交付決定額				累計	(単位:件・千円)
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
件数	9	9	0	0	0	9	
交付決定額	15,633	15,633	1	0	2,734	12,898	
前年度実績							
件数	14	14	1	2	1	14	
交付決定額	19,319	19,319	966	6,509	3,931	20,931	

交付申請時の計画どおりに実施しなかった補助対象事業があったことから目標未達となった。

業務運営に関する評価

所属長評価	第1四半期	現段階での評価は難しいが、年間目標(計画)を達成できるよう、引き続き取り組んでいきたい。
	第2四半期	利用者数・技術連携件数等、概ね順調に推移している。
	第3四半期	概ね予定どおりの実施状況となっている。O R T 研修については、受講者数の増加を図っていきたい。
	第4四半期	年間目標(計画)を概ね達成している。
	総合評価	利用者数や技術連携件数、技術展示会出展中小企業者数は目標を上回り、総合的には概ね年間目標(計画)を達成できた。

連絡先(電話番号) 046-236-1500 内線2018